

省エネ基準工事監理状況報告書（モデル建物法）

年 月 日

福山市長（建築主事）様  
指定確認検査機関

住所  
工事監理者  
名前  
( )建築士( )登録第  
( )建築士事務所( )知事登録第  
電話番号

印  
号  
号

次のとおり、工事の監理状況を報告します。  
この監理報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

項目	報告内容			
	報告事項	照合を行った設計図書	確認方法	確認結果
1 外皮	①断熱材の仕様、設置状況		A・B・C	
	②窓の仕様、設置状況（ブラインドボックス、ひさしの設置状況を含む。）		A・B・C	
2 空気 調和 設備	①熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C	
	②全熱交換器の仕様、設置状況		A・B・C	
	③全熱交換器のバイパス制御の設置状況		A・B・C	
	④予熱時外気取入停止制御の設置状況		A・B・C	
	⑤2次ポンプの変流量制御の設置状況		A・B・C	
	⑥空調機ファンの変風量制御の設置状況		A・B・C	
3 換気 設備	①換気設備の仕様、設置状況		A・B・C	
	②送風量制御の設置状況		A・B・C	
4 照明 設備	①照明器具の消費電力、台数及び取付状況		A・B・C	
	②各種制御の設置状況 (在室検知制御・タイムスケジュール制御 ・初期照度補正制御・明るさ検知制御)		A・B・C	
5 給湯 設備	①熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C	
	②給湯配管の保温の仕様、設置状況		A・B・C	
	③節湯器具の仕様、設置状況		A・B・C	
6 昇降 機設 備	昇降機の仕様、設置状況		A・B・C	
7 太陽 光発 電設 備	太陽光発電の仕様、設置状況		A・B・C	

- 注 1 この様式は、「モデル建物法」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した建築物に係る工事監理を対象とする。
- 2 工事監理者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 3 計算対象となる設備等がない場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要とする。
- 4 「照合を行った設計図書」の欄は、建築基準法施行規則第1条の3に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載すること。
- 5 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲むこと。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載すること。Cで確認した書類は、検査時に確認する場合があるため、現場に備え置くこと。
- A：目視（試験）による立会確認
- B：計測等による立会確認
- C：自主検査記録・施工記録・測定記録・材料搬入報告書・工事写真・資格証明書・施工図・試験成績書等による確認
- 6 「確認結果」の欄は、「適」・「不適」のいずれかを記入し、工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」を記入すること。また、不適の場合には建築主に対して行った報告の内容を記載すること。
- 7 不用の文字は、消すこと。
- 8 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。